１月２日、香美市体育協会主催による新春恒例の**走り初め**が、香北町で開催されました。

当日は寒い中、約１５０人の参加がありました。この行事は、旧香北町で町民を対象に始められ、現在は参加者を香美市民に広げて行われています。

参加者は新年最初の体育初めをそれぞれ自分のペースで完走しました。

▲ヘルスメイトと塩分計でスープの塩分を確認する子どもたち

１２月１０日、中央公民館で、市内の年長児から小学６年生までの親子を対象に、**おやこ食育教室**が行われました。

これは、自分たちの手で食事を作る体験学習を通じて、味覚や食べ物を選ぶ力を養い、食に対する感性を磨く機会となるよう、食生活改善推進協議会が主催したものです。

参加した親子たちは、食育クイズやオリジナルスープ作りなどを通して、食に関する知識を深めるとともに、親子で料理して一緒に食べる楽しさを、改めて感じているようでした。

人権の大切さ考えよう

１１月２３日、中央公民館で、**香美市じんけんフェスティバル**が開催されました。

これは、１２月４日～１０日の人権週間にちなみ、人権の大切さを考えることを目的に毎年開催されているものです。

当日は、小中学生の人権ポスター・毛筆・標語の表彰式、人権の花の贈呈式が行われたほか、『夢を持つことの大切さ』と題して、元パラリンピック車いすバスケットボール日本代表の京谷和幸さんが講演を行い、来場した多くの方が熱心に聞き入っていました。

▲講演をする京谷和幸さん

大規模災害に備えて

１１月２１日から２２日にかけて、鏡野公園ほかで、**第５回高知県緊急消防援助隊受援・応援合同訓練**が、香美市消防本部、香南市消防本部、嶺北広域行政事務組合消防本部の３本部合同により実施されました。

この訓練は、南海トラフ地震などの大規模災害を想定し、緊急消防援助隊の受け入れ体制構築を目的とした訓練と、高知県緊急消防援助隊による被災地での応援活動訓練を同時に行ったものです。

▲土砂に埋もれた自動車からの救助訓練

新春の思いを書に込めて

１月５日、**第１２回香美市書初め大会**が中央公民館で開催され、早朝より市内外から６９人が参加しました。

幼児から大人まで幅広く参加があり、部門に応じて定められた「こいぬ」「春和景明」などの課題を、新年への思いを乗せ、力強く筆を走らせて書き上げました。

特選受賞者（敬称略）

北添桃（みさと幼稚園）
光明舞夏（楠目小１年）
小谷ひかり（山田小１年）
青木瞳実（舟入小２年）
田村翔太郎（野市東小２年）
北添蘭（十津小３年）
横川葵泉（佐古小４年）
岡松花音（野市東小５年）
小松佑里（片地小５年）
山崎綾香（片地小５年）
小谷真優（山田小６年）
金堂加奈（野市東小６年）
田村羽瑠（野市東小６年）
竹島未菜（土佐女子中２年）
野島未遥（土佐中２年）
三木由衣（高知商業高１年）
秋友敬子（一般）
岡村智予（一般）
大場真美（一般）
吉川恵（一般）

４月に本格開校する県立林業大学校の新校舎が土佐山田町大平に完成し、１１月２２日、落成式が行われました。

平成２７年の開校以来、林業を志す多くの人材を育ててきた県立林業学校は、『森林管理』など新たに３つの専攻課程を設け、県立林業大学校として本格開校することとなりました。新校舎は、木材の新たな利用方法として注目されるＣＬＴ（直交集成板）を取り入れ、県産材をふんだんに使用した木造２階建ての建物となっています。

式典では、初代校長に就任予定の建築家・隈研吾さんがあいさつに立ち、「日本の木の技術は世界でトップで、その中でも高知は一番。林業大学校が高知にとってパワーアップの機会になってほしい」と期待を込めていました。

自然の中を駆け抜けよう

１２月３日、県立甫喜ヶ峰森林公園で、**第４回トレイルジャンボリーｉｎ甫喜ヶ峰**が開催されました。

アップダウンの激しい自然の中を駆け抜けるトレイルランを気軽に楽しめるコースで、県内外から１６３人の参加者が出場し、気持ちの良い汗を流していました。

レースは１０㌔コースの部、小学生による１㌔コースの部、未就学児による２００㍍コースの部のほか、３人で合計１０㌔を走るリレー部門などが行われました。

小学１～３年生の部では、１位に大宮小２年生の山内叶有さん（香北町美良布）が、３位に同じく２年生の新谷恵麻さん（香北町美良布）がそれぞれ入賞しました。２人は香北陸上クラブに所属し、練習の成果が表れた好タイムとなりました。

左から新谷さん・山内さん

▲大自然の中を軽快に駆け抜けるランナーたち